



小牧市まちづくり推進計画

第2次基本計画

概要版



市長あいさつ

世界的にも高水準で推移する高齢化率、想定を上回るスピードで進む少子化、変化の激しい社会経済情勢等、先行き不透明な時代においては、自らがフロントランナーとなる気概を持ち、未来を切り拓くための「チャレンジ」を続けなければなりません。

私は、これまで「改革と創造の市政」、「チャレンジする市政」を掲げ、未来を見据えた様々な改革と小牧市の明るい未来につながる新たなチャレンジに全力を注ぎ、信念とスピード感を持って市政を運営してまいりました。

「小牧市まちづくり推進計画」は、私のもと、小牧市が続けてきた「チャレンジ」を具現化したもので、いくつかの特徴を持っています。

第一に、「基本構想に相当するものとして市民憲章を位置づけ、基本計画は市長が定める。」というものです。基本構想は昭和60年に制定した「小牧市民憲章」にその役割を持たせ、基本計画は平成27年に制定した「小牧市自治基本条例」において、「市長が基本計画を定め、議会は計画に基づいた予算を議決する」ことを明文化しました。

第二に、計画の構成として、市長マニフェストを落とし込み優先的に経営資源を投入する「市政戦略編」と、行政が着実に実施する「分野別計画編」とに分けることで、限りある経営資源をどのように配分するのかを明確にしました。

第三に、市長マニフェストを計画に落とし込むため、4年ごとの市長任期にあわせて見直すこととしました。

これらの特徴を持つ「小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画」は、第1次基本計画で掲げた3つの都市ヴィジョンを承継し、SDGsやダイバーシティの考えも包含するとともに、DXの推進やカーボンニュートラルの実現など、時代の潮流に対応すべく新たな視点を加えた計画としました。

今後はこの新しい計画のもと、「こどもが夢を育み、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して暮らせる、持続可能で、魅力と活力あふれる夢ある小牧市」の実現に取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたってご尽力を賜りました小牧市まちづくり推進計画審議会委員の皆様、市議会議員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様深く感謝申し上げます。

令和6年3月

小牧市長 山下 史守朗



これまでの計画等の変遷

